

## 9 郡上市立牛道小学校

<b>学 校 名</b>	郡上市立牛道小学校 (校長 三島 寿美子)
<b>活動の種類・単位</b>	命を守る教育を、全校児童と地域・家庭が連携して取り組んだ。
<b>教育課程上の位置付け</b>	特別活動 (学校行事)、総合的な学習の時間

### 1 活動テーマ

家庭・地域と連携し、自分の命は自分で守る意識を高める防災教育

### 2 主な活動内容

#### (1) 地域との連携による通学路等の安全点検や安心・安全マップづくり

本校は小規模校であるが、徒歩通学以外に2本のバス通学路線があるため、校区がたいへん広い。そこで、数年前から地区別の安全マップを作成し、各年度にその見直しを図っている。

まず、各家庭において自宅近くや通学路に危険箇所がないかを確認し、それを紙面で学校に報告した後、地区別の懇談会を実施した。その際、地区の自治会長にも参加を依頼して、家庭から報告された危険箇所の情報を共有することにより、通学路などは迅速に危険箇所への対応をしていただくことができた。



▲ 地区懇談会での情報交流

#### (2) 保護者・児童がともに学ぶ救急救命法講習会の実施

本校では、例年5・6年生の児童が、消防署主催の救急救命法の講習に参加している。今年は、その場に保護者の方も一緒に参加するよう計画し、実技を身につけるとともに、学校が実施している防災教育の一端を理解していただくようにした。

#### (3) 行事『ふるさとをたずねて』を通して、地域の高齢者と関わりをもち、ふるさとを愛する心を育てる活動

全校児童が、自分の地区の公民館へ行き、そこで地域のシニアの方と交流をする活動を行っている。当日は、事前に高学年を中心に遊びを準備したり、自己紹介や歌の練習をしたりした成果を発揮して、たくさんのシニアの方との交流ができた。参加児童の中に自分の孫がみえない方も積極的に参加してくださったため、児童にとっては新しい方との出会いの場にもなり、地域の方との新しい関わりが生まれた。



▲ ふるさとをたずねて シニアとの交流

#### (4) 地域のデイサービス施設を訪問しての交流活動

学校の近くには、地域のデイサービス施設があり、多くの方が利用されている。児童は福祉学習の一環として、学校で学んできたことを生かして交流する場を複数回設けている。児童が知恵を絞って作成した道具や遊びを通じて、初めて会う方とも適切なコミュニケーションが図られるようになってきた。

<b>子供たちに付いた力</b>	自分の命は自分で守る意識が高まってきた。また、登校時はもちろん、地域の方と出会ったときやシニアとの交流の場では進んで挨拶や会話ができる姿が増えた。
<b>効果</b>	教員の指導だけでなく、保護者や地域の方と複数回のかかわりをもつようにすることで、地域の大人が一体となって児童を育てる環境が育まれている。
<b>今後の方向</b>	学校を中心とした地域との交流活動が、今後も計画的に実施されていくよう工夫し、児童が地域の方とともに自ら命を守る行動を身につけていけるようにしたい。